2026年11月24日
株式会社ガイアックス

総再生20億回超のCREAVEが解説する「日本型ショートドラマ」の現在地と勝ち筋

～今夏中国視察の代表・中村真奈とゲストが登壇するメディア限定勉強会開催～

株式会社ガイアックス（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：上田 祐司、証券コード：3775、以下 ガイアックス）の子会社である、クリエイターとの共創を通じて企業のマーケティング課題を解決する株式会社CREAVE（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中村 真奈、以下 CREAVE）は、2026年11月22日（日）にNHKスペシャル『臨界世界 -ON THE EDGE- 縦の支配 中国 ショートドラマの光と影』が放送され、ショートドラマ市場への社会的関心が高まることを受け、「日本型ショートドラマの現在地」に関する最新動向と当社の事業戦略を公開いたします。

中国における「復讐劇の大量生産」と「AIによる制作代替」が波紋を呼ぶなか、当社は対極となる「日常共感とIP育成」を掲げ、自社IP『本気出すのは明日から。』（通称：マジ明日）とテレビ東京との共同IP『これじゃ在り来たりすぎる。』（通称：これすぎ）の合算で累計総再生数20億回を突破しました。持続可能なファンコミュニティを形成する“日本流”のショートドラマの勝ち筋を解説します。



■ 背景：NHK特集でも注目される「中国型ショートドラマ」の過酷な現在地

現在のショートドラマ市場を牽引する中国では、市場規模が2兆円を突破し、7億人が視聴する巨大産業へと成長しています。しかし、その裏側では「1話1分の復讐劇」など過剰な刺激を与えるコンテンツがデータ分析に基づきアルゴリズム至上主義で量産されています。「60話を5日で撮り切る」といった過酷な制作現場の疲弊に加え、昨今は「AI動画生成ツール」の台頭により、クリエイターの存在意義や物語の価値が根底から問われる激震期を迎えています。

■ CREAVEが提唱する「日本型ショートドラマ」の戦略：日常共感とIP育成

「バズれば一攫千金、消費されて終わるコンテンツ」が主流の中国型に対し、CREAVEは日本の視聴者心理に寄り添った「日常共感・IP育成型（愛着醸成型）」のショートドラマ制作・運用に注力しています。

- **過激な演出を排した「日常の共感」**：復讐や愛憎といった極端な設定ではなく、「高校生活の何気ない日常」や「不器用な感情の揺らぎ」など、視聴者が自分を投影できる等身大のストーリー（バーチャルショートドラマ手法）を展開しています。
- **AIには生み出せない「キャラクターの温度感と間の演出」**：企画やリサーチ等でのAI活用は進める一方で、クリエイターと演者が現場で対話しながら作り上げる「阿吽の呼吸」や「絶妙な間」を重視しています。人間の手触りや感情表現を大切にすることで、使い捨てられない作品作りを行っています。
- **「再生数」から「ファンダム形成」への転換**：単発での再生回数を追うのではなく、視聴者がキャラクターの成長を応援したくなる仕組みを構築し、長期的なエンゲージメントを獲得しています。

■ 総再生20億回超！コミュニティ化する自社IPの実績と今後の展開

CREAVEが手がけるIPは、上述の戦略により、ショートドラマの枠を超えた広がりを見せています。

- **『本気出すのは明日から。』（マジ明日）**
  開始わずか10ヶ月で累計総再生数10億回を突破しました。平均エンゲージメント率も5～8%という高水準を維持しています。ショート動画発のIPでありながら、YouTubeでの長編動画（平均再生数22万回超、累計130万回突破）、メンバーシップ制度の開始、オリジナルグッズ販売 といった、ファンコミュニティとしての強固な基盤とマネタイズを確立しています。
- **テレビ東京共同IP『これじゃ在り来たりすぎる。』（これすぎ）**
  テレビ局のドラマ制作ノウハウと当社のSNSマーケティング力を掛け合わせた等身大青春ドラマ。両IPの合算総再生数は20億回を超え、多くの視聴者から熱狂的な支持を集めています。

現在、これらの自社IPの世界観に企業の商品・サービスを自然に溶け込ませるタイアップ広告を展開し、Z世代向けマーケティングにおいて「平均の約5倍のエンゲージメント率の獲得（5.1%）」など、企業の事業課題解決に大きく貢献しています。

■ 株式会社CREAVE 代表取締役社長 中村真奈のコメント



「2026年夏、中国現地を視察し、現地の制作関係者と対話を重ねる中で、ショートドラマ業界の凄まじい熱量と、AI技術の波がもたらす『人間のクリエイティビティへの問い』を肌で感じました。圧倒的なスピードと量産体制で勝負する中国に対し、我々が日本で築くべきは『視聴者の心に残り、愛され続けるIP』の創出です。CREAVEはこれからも、AI時代だからこそ光る“人間にしか作れない温かさ”と“熱量の高いファンダム”を武器に、ショートドラマ市場の新たな可能性を切り拓いてまいります。」

【メディア関係者様 限定・少人数情報交換会のご案内】

NHKスペシャル『縦の支配』でも注目の「中国ショートドラマとAI制作の激震」今夏、中国現地を視察したCREAVE代表と、日中の動画業界・生成AI活用の最前線を知る業界関係者が語る、日中比較のショートドラマ最新リアル

11月22日（日）放送のNHKスペシャル『臨界世界 −ON THE EDGE− 縦の支配 中国 ショートドラマの光と影』でも取り上げられた通り、急拡大した中国のショートドラマ業界は今、生成AIによる映像制作の普及によってかつてない激変期を迎えています。こうした背景を受け、2026年夏に中国現地を訪問した弊社代表・中村真奈と、中国の動画業界や生成AI動画活用の最前線に精通する業界関係者より、メディア関係者の皆様に向けた少人数制の勉強会（情報交換会）・個別取材会を開催いたします。

■ 主なトピック（ご希望に合わせて調整いたします）

- **中国の縦型ショートドラマのリアル**（NHK番組では触れられていなかった現地の裏側・肌感もお伝えします）
- **中国のAI活用のリアル**（現場で一気に進むAI制作の現在地）
- **中国のショートドラマやコンテンツの未来予測**（これから市場はどう変わっていくのか）
- **日本のショートドラマ制作現場の実態**（中国と何がどう違うのか）
- **CREAVEが大切にしているコンテンツの作り方・向き合い方**（総再生20億回超のIPづくりで意識していること）
- **これからのショートドラマ業界の展望**（「今後こうなったら面白いよね」という未来への視点）

■ 実施概要

- **日時**：2026年12月4日（金）午後　（海外からの来日ゲスト追加可能性のため現在時間調整中。お申込者に時間をご案内します）
  ※上記日程のご都合が合わない場合や1社様ごとの個別対応をご希望の場合、個別でのオンライン／対面ブリーフィング（30分～）も調整可能です。ご相談ください。
- **会場**：株式会社CREAVE（東京都千代田区平河町2-5-3 MIDORI.so NAGATACHO）
- **対象**：テレビ・新聞・雑誌・Webメディアの記者様、編集者様、番組リサーチャー様
  ※会場定員の都合でご参加をお断りする場合がございます。予めご了承ください。
- **参加費**：無料

■ スピーカープロフィール：中村 真奈（なかむら まな）
ほか豪華ゲストは後日発表・お申込者にご案内

株式会社CREAVE 代表取締役社長 / 株式会社ガイアックス 執行役
2020年ガイアックス入社。2023年スナップマート代表取締役、2024年社名変更に伴い現職。クリエイターネットワークを強みに企業のSNSマーケティングを支援。自社IP『本気出すのは明日から。』等の累計総再生数は20億回を突破。

■ お申し込み・お問い合わせ方法

ご参加をご希望の方は、【12月3日（木）】までに、下記項目をご記入のうえメールにてお知らせください。
貴社名・媒体名、お名前、特に関心のあるテーマ・事前質問（任意）
送付先：pr@gaiax.com

【本件に関するお問い合わせ・お申し込み先】
株式会社CREAVE　https://creave.co.jp/contact/